



第11号

京都府高次脳機能障害（京都市域）支援ネットワーク会議

京都市と京都府で初共催！出席者80名！！

を開催しました！

高次脳機能障害のある方に対する支援については、医療、福祉、介護、就労等様々な関係機関が連携して支援ネットワークを構築していくことが求められています。

そうした中、平成30年2月28日（水）に、京都市と京都府が共催では初めてとなる第26回京都府高次脳機能障害（京都市域）支援ネットワーク会議を開催しました。

国や京都府、京都市の取組を報告した後、高次脳機能障害に詳しい医師から、高次脳機能障害の概論と、社会的行動障害の対応についてご講義いただきました。高次脳機能障害は、症状の多様さゆえに支援が難しいと感じる方が多いかもしれませんが、おおまかに発症原因ごとに生じやすい症状とHOW TOを知っておくと、お一人お一人の支援を検討しやすくなるというお話でした。会議の後半には、各参加機関の支援状況や課題などについて報告してもらい情報を共有しました。

なお今後は、会議実施に先立って各機関に実施した支援状況に関するアンケート結果をもとに、京都市域の高次脳機能障害支援マップを作成し、京都市高次脳機能障害者支援センターホームページ等で掲載する予定です。

高次脳機能障害のある方を支援する障害者支援施設見学会

初開催！30施設から42名が参加！

を開催しました！

当施設が高次脳機能障害のある方に対して住み慣れた地域で生活が送れるように支援していく施設となってから2年が経過しました。そこで、平成30年2月28日（水）に、施設の現状をお伝えし、高次脳機能障害のある方の支援に役立てていただくことを目的として、施設見学会を実施しました。当日は、予想をはるかに上回る42名（30施設）の方に参加していただきました。

見学会では、施設の紹介や一部のプログラムの見学、症例紹介などを実施しました。短い時間でやや慌ただしかったですが、学習室や訓練室（リハ室）など施設内の環境や利用者の状況を見てもらうことで、施設利用に向けたイメージを持ってもらえたかなと思っています。

ただし、事前アンケートの上位に上がっていたプログラムの内容については、具体的な内容や見学時間の提供が不十分だったと反省しています。今後は、「回数を増やす」「少人数で見学する」など内容について検討を加えた上で、障害者支援施設の見学会を開催していきたいと考えています。是非お越しください！

地域リハビリテーション推進研修のご案内

この研修は、支援者の方々を対象に、障害のある方や高齢者が住み慣れた地域で生活していただくために必要な知識や介護技術の向上等を目的として行っています。

今回は、一部の講座を京都市介護ケア推進課やこころの健康増進センターと共催するなど、すべての障害を含んだ研修を企画し、各分野のスペシャリストの講師陣をお招きしています。

職場の新人研修の機会として、また経験者やベテランの方も知識の再確認や最新情報を得る機会として、是非ご参加ください。

お申し込み方法等、詳しくは当センターホームページをご覧ください。

☆☆☆ 注目の講座 ☆☆☆

★6月26日（火）13時30分～
「笑いと介護～日々の笑顔でQOLの向上を！～」 日本笑い学会 介護福祉士 昇 大作氏

★7月19日（木）13時30分～
「さまざまな依存症」 京都市こころの健康増進センター 所長 波床 将材氏

★8月3日（金）13時30分～
「生活の自立に向けた住宅改修のポイント」(有)サニープレイス 一級建築士 岡村 英樹氏

★8月7日（火）15時20分～
「精神障害のある方の家族支援」 京都ノートルダム女子大学 准教授 佐藤 純氏



人気講座は満席！
隣同士で意見交換
などもあり楽しく
学習できます。



◆◆◆ 実習の一例 ◆◆◆

★6月28日（木）10時00分～
現場に活かす！運動メニュー実践のコツ「お手軽体操編」

★7月3日（火）15時00分～
現場に活かす！運動メニュー実践のコツ「ストレッチ編」

★7月20日（金）15時00分～
現場で役立つ！介助方法「起き上がり編」

★8月23日（木）13時30分～
現場で役立つ！介助方法「移乗編」

介助する側、受ける側
を実際に体験すること
で、新たな発見がある
かも！？

※その他にもたくさん企画しております。テーマや日程など、ホームページでチェックしてみてください。



少人数で実施！

講師はリハビリ
の専門職員です。



高次脳機能障害入門講座

高次脳機能障害についての基礎知識を学ぶ入門講座です。
昨年度から新たに、当事者やご家族の実際の経験や思い等を聞いていただく「当事者・家族からの声、関連事業所等紹介」を追加し、ご好評をいただいています。
6回のシリーズを通して学んでいただくとわかりやすいのですが、関心のあるテーマだけの参加もOKです。

内容	前期	後期
1「発症からのステップ～社会参加に向けて～」	4月20日(金) 実施済	10月19日(金)
2「注意障害・記憶障害・遂行機能障害について」	5月18日(金) 実施済	11月16日(金)
3「社会的行動障害について」	6月15日(金)	12月21日(金)
4「失語症について」	7月20日(金)	1月18日(金)
5「就労に向けて」	8月17日(金)	2月15日(金)
6「当事者・家族からの声、関連事業所等紹介」	9月21日(金)	3月15日(金)

時 間：いずれも午前10時～11時

対象者：京都市内在住の高次脳機能障害のある方、ご家族、支援者、高次脳機能障害に関心のある方

定 員：先着70名(申込要)

参加費：無料

申込み問合せ：当センター（電話 075-823-1658、FAX075-842-1545）



地域ガエルのお出かけ講座

出張講座
しています！



費用は無料！！

当センターの専門職員（理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、高次脳機能障害支援コーディネーター等）がお住まいの地域に出向き、リハビリテーションに関連する知識や技術の向上、高次脳機能障害の支援の拡大を目的とした講座を開催します。

昨年度は、「地域生活支援センター」「地域包括支援センター」「生活介護事業所」「デイサービスセンター」「入所施設」「病院」など、多くの事業所や団体からお申込みいただきました。

●こんなテーマでお話しします・・・

- ◆支援者の腰痛予防について
- ◆利用者の身体機能低下や転倒の予防法
- ◆車椅子の基本操作と介助法
- ◆高次脳機能障害について（その症状や対応等）

研修企画に活用や職場の勉強会として利用していただくことが多く、「多くの職員と一緒に受講できるので、後で共有しやすい」「専門的な話が分かりやすく具体的で支援に活かせる」「講師派遣が無料でありがたい」と好評です。今年度も皆様のスキルアップのお手伝いに積極的に取り組みます。

*ぜひお気軽にご相談ください。専門職の方だけでなく、市民の方もご利用できます。

催しのご報告

第34回京都市地域リハビリテーション交流セミナー 「障害があるからこそ、地域で暮らし続けるために」 平成30年2月2日(金)

本セミナーは、「障害があるからこそ、地域で暮らし続けるために」と題して、当センターで開催し、84名の方に参加していただきました。

第1部の講演では、戸枝陽基氏（社会福祉法人むそう理事長）から、「障害のある方の住み慣れた地域での自分らしい暮らしの継続」を実現するために、看取りまでの生涯を支援していく「むそう」の取組を中心にお話いただき、本人の特性を活かしてその人の暮らしを支える重要性を学びました。

第2部では、京都市で地域支援をされている粟津浩一氏と浅田将之氏を交えて座談会を行い、さまざまな議論が飛び交いました。子ども・高齢の方・障害のある方を地域で包括的に支援していくことで、住民が身近に感じやすく、障害のある方に対する理解が促進されるという内容が印象的でした。



第1部 講演会の様子



第2部 座談会の様子



ライブ in こうじの世界

★編集後記★当センターが地域リハビリテーション推進センターとして運営を開始してから3年が経過しました。何もかもが手探りであった当初のことを思うと、今回紹介させていただいた「こうじの世界」、「お出かけ講座」、「施設見学会」など、工夫を凝らした事業を展開できるようになってきました。これからも当センターの事業にご注目いただきますようお願いいたします。

高次脳機能障害普及啓発フェア 「こうじの世界 高次脳機能障害×麴」 平成30年2月10日(土)

高次脳機能障害について1人でも多くの方に知っていただくために、「麴」とコラボした普及啓発フェアをゼスト御池で開催しました。「麴」関連商品の販売や協力企業等によるミニ講話に加え、職員から高次脳機能障害の説明と、当事者やご家族からのメッセージ及びバンド演奏等をお聴きいただきました。当日の来場者数は約750名と盛況でした。「初めてこの障害のことを知り勉強になった」「当事者の方のお話が聞けてよかった」「障害を持っている方のライブ演奏に勇気づけられた」「麴と掛け合わすことで知らなかった人にも関心が広がってよい」「楽しく、広める、これまでにない普及啓発の形」「誰にでも起こりうる障害なので、この障害の社会理解が進むことを祈る」など皆様からいただいたご意見を、また今後の事業企画に活かしたいと思います。

【リハ✉メール】第11号 2018年5月発行
発行 京都市地域リハビリテーション推進センター
〒604-8854 京都市中京区壬生仙念町30番地
電話 075(823)1650 (代表) FAX 075(842)1545
Eメール rehabili@city.kyoto.lg.jp